

〔東京小諸会信条〕

本会は、東京都及びその周辺に在住する小諸市出身者とその関係者をもって組織し、会員相互の親睦を厚くし、その向上と郷土の発展並びに社会文化に貢献する。

東京小諸会々報

(題字・初代会長 小山 邦太郎先生)

第29号

発行 平成17年11月5日

編集・発行 東京小諸会

〒105-0003

東京都港区西新橋1-7-14 垣見ビル

世界経済研究協会内 東京小諸会

電話 (03)3501-1321 (代表)

FAX (03)3501-1420

東京小諸会平成十七年度総会・大懇親会を迎えて

東京小諸会会長 葦澤嘉雄



会員の皆様、東京小諸会総会・大懇親会に万障御繰り合わせ、このように多数御出席下さり、まことに有難うございます。

今年も小諸市の芹沢勤市長様はお見えになれませんでした。昨年は、小諸市制五十周年の記念行事が、東京小諸会の総会・大懇親会の日と重なりましたためお出でになれなかったのですが、実は、今年も、東京小諸会の当日、小諸市で「本町活性化全国シンポジウム」が開かれ、芹沢市長はその議長になられることになっていましたので御欠席という御回答でした。その上に、今年も芹沢市長様は、別記のように、腰椎変性すべり症という御病気で入院

されました。

このため、今年も芹沢市長様は御欠席ですが、しかし、小諸市からは柳澤修助様ほか三名が御出席になっております。また、御祝儀も頂くことになっております。

こういふ動きの中で、この東京小諸会総会・大懇親会が開かれるのでありまして、会員諸兄がこの会を大いに盛り上げて下さるよう切に願ってやみません。

「全日本そばサミット」を小諸で開け

さて、この機会に、日ごろ私が小諸について考えていることを提案したいと思っております。それは何かと言いま

来年の東京小諸会総会・大懇親会は

十一月十八日(土)如水会館二階スターホールで

来年の東京小諸会総会・大懇親会は、十一月十八日(土)正午から、今年と同様、東京都千代田区一ツ橋二一の一の如水会館二階スターホールで開催することに決定いたしました。どうぞ今から予定にお入れになって、お誘い合わせ、多数御参加下さいませよう御願ひ申し上げます。

平成十七年十一月五日

東京小諸会

すと、「本町活性化全国シンポジウム」は大変結構なことですが、それとともに、できるだけ早く、「全日本そばサミット」を小諸で開くことであります。実は、これには強力なライバルがおります。兵庫県(徳川時代の但馬国)の出石です。徳川時代、小諸の藩主であつた仙石秀久は、小諸から上田をへて、出石の城主になりましたが、その際、信州のそば作りの技術を出石に植えたのです。その結果、出石はそばで有名になっており、町中そばやだらけといつてもいいほどそばが多くなつています。

この出石が「全日本そばサミット」を言い出したら大変ですので、小諸がそれより先に、「全日本そばサミット」を開かなければなりません。そうすれば、そばについては小諸が「日本一」ということになり、世の注目を集めます。小諸では、芹沢市長様が、別項の記事にありますように、相憎、入院中ですので、代りに香坂勝勝の小諸商工会議所が主催して「全日本そばサミット」を行つたらいかでしようか。

そうすれば、全国から、製粉業者、そばや、関連の業者が小諸に集まり、内藤夏雄様が社長をしておられる小諸ブランドキャッスル・ホテルはサミットの会場になるばかりでなく、サミットに参加する製粉業者、そばやなどで超満員になるでしょう。内藤社長様はホクホクということになり、また小諸のみやげ物やなども潤い、ほかに波及効果が出てくるでしょう。そうなれば、大変、小諸の発展に寄与すること

平成16年度決算報告書

自平成16年1月1日～平成16年12月31日 (単位 円)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
前年度繰越金	100,000	総会関係支出	1,102,835
総会費	735,000	御祝儀	40,000
広告代	300,000	慶弔費	0
御祝儀	100,000	諸経費	40,000
雑収入	1,000	繰越金	53,165
計	1,236,000	計	1,236,000

以上の報告を監査しましたところ、いずれも正確であることを証明します。平成17年1月 監事 土屋佳代子 渡邊義知

総会・大懇親会次第

- 一 開会の辞
- 一 県歌「信濃の国」 斉唱
- 一 会長あいさつ
- 一 物故者への黙祷
- 一 慶弔報告
- 一 議事
 - (1) 会務報告
 - (2) 会計報告
 - (3) 会計監査報告
- 一 来賓紹介・祝辞
- 一 大懇親会
 - (1) 鏡開き
 - (2) 乾杯
 - (3) 開宴・歓談・福引
- 一 萬歳三唱
- 一 閉会の辞

になります。そこで、小諸で「全日本そばサミット」を早く開くことを私は提唱するものであります。

きょうは、総会の議事のあとは、市川源太郎副会長の名司会で、懐かしい小諸に思いを馳せつつ、ふるさとの日本酒とワインを味わい、昔と今と明日の小諸を語り合い、小諸や信州についての歌を唱い、素晴らしい景品が当たる福引を引いて秋の一夜を思う存分に楽しくお過ごし下さい。

大懇親会に入りましてからは、どうぞご出席の皆様方同志でお唱いになるなどされて、飛び切り楽しい会にして頂きたいと思っております。

なお、この如水会館は、私の母校、一橋大学の同窓会館であり、飲食の方は東京会館が委託経営しておりますので、とても美味しいです。どうぞたくさんお召し上がり下さい。ところで、今年も、この東京小諸会総会・

大懇親会のために、役員の方々から献身的なお力添えを頂きました。役員の方々の小諸愛にはいつも強い感銘を受けております。感謝に堪えません。特に北村尚巳理事には、会員への案内先のことで大変お世話になりました。有難く思っております。

また、今年も、小諸市、信州味噌の小山俱荷供社長、小諸そばの小川正元会長、市川源太郎東京小諸会副会長・東京岳南会会長、コミーの小宮山榮社長、常盤館・花おかの花岡隆社長、花岡道別小諸市観光協会会長（きのこの森社長、山謙酒造、マンズワイン、高嶺商会、本会の小山田純一、大池あさの、小山清吾・小山洋之介副会長、高橋昭平・小宮山榮（前世・渡辺静雄常務理事（三和シャッター社長）柳沢紀子理事ほか）に格別の御協力を頂きました。記して厚く御禮申し上げます。

東京小諸会平成十七年度総会・大懇親会にあたり

小諸市長 芹澤 勤



本日ここに東京小諸会平成十七年度総会・大懇親会が、ご来賓の皆様をはじめ大勢の会員の皆様のご出席のもと、盛会に開催されますことを衷心よりお慶び申し上げます。

会員の皆様におかれましては、ふるさと小諸を離れお元気に活躍されておられますことに重ねてお慶び申し上げますとともに、平素は小諸市政の推進に温かいご支援、ご協力

を賜り、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

私は、昨年四月市長に就任して以来、限られた財源で如何に住民サービスを後退させないかを課題に行財政改革を進めて参りました。おかげさまをもちまして、今後の行財政運営に向けて一定程度の成果が表れてきておりますが、国・地方合わせて八百兆円を超える累積債務を抱える中、三位一体改革による各種補助金の交付金化や地方交付税措置の不明確さにより、地方の一般財源確保が

危ぶまれる状況となっております。そういった厳しい状況の中、指定管理者制度の導入、PFI、市場化テスト等、行政手法の変化も求められております。

こうした時代に対応するためには、「市民との協働」という言葉がひとつのキーワードであり、如何にして「市民との協働」を成し遂げるかが自治体の長に求められている時代の要請であると存じます。

さて本日は、小諸を故郷として深い愛着を抱いていたいております会員の皆様に、小諸の近況をご紹介させていただきます。

この夏、NPO法人浅間山麓自然学校が開校いたしました。標高二千mの高峰高原から浅間山にかけては、日本で最も多いとされる千二百五十種類の植物、アサモモンキ、アサマジミといった浅間山麓固有の昆虫、そして奥日光、阿蘇山系と並ぶ野鳥の宝庫としても知られております。そこを舞台としたウォーキングイベント、トレッキングツアー、高山植物観察ツアー等が計画されており、多くのお客様をお迎えできるものと期待しております。

更に、小諸再生プロジェクトと称する民間組織が、健康づくりと自然との共生をテーマとしたサイクリングイベントを開催する等、民間の活動が大変活発になってきており、市としてもできる限りの協力をしていくと

芹沢市長入院

芹沢市長は、第四腰椎変性すべり症のため、十月十五日、長和町（旧長門町と和田村が合併）の依田窪病院（整形外科）に入院、十八日に手術し、三週間ほど入院する予定。

ろでございませう。

また、昨年に引き続きアルピニストの野口健氏をお迎えし、間伐体験や講演会、環境シンポジウムを開催いたしました。イベント終了後の小諸市との共同記者会見では、屋久島や富士山での清掃活動と共に、来年から5年間浅間山麓の山林を本来の植生に戻す森林再生プロジェクトを発足させる旨の発表をさせていただきました。浅間山麓が、屋久島や富士山と並ぶ野口健氏の活動の拠点となることは、当地域の自然が大変優れていることの証でもあり、大いに期待するところでありませう。

また、最近急速に認知度が高まっております「ロハス」という言葉をお聞きになったことがあるかと存じますが、これから小諸が目指すべき方向性を的確に表現した言葉と想っております。一言で言いますと、健康を重視し、持続可能な環境に優しいライフスタイルを心掛けるという意味でございませうが、この言葉を小諸の五十年後、百年後のまちづくりの基本に据えたいと考えております。

来年度予算の編成に当たりましては、「子育て」「教育」「環境」の三本柱に重点を置き、元気のある小諸、誇りの持てる小諸市づくりに邁進して参りたいと考えておりますので、皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

皆様のふるさと、そして私たちのまち小諸市は、浅間連峰が冬化粧を始め、寒さも一日と厳しさを増しておりますが、折りをみて小諸市にお出かけいただき、変貌する市域をご高覧賜りたくお願い申し上げます。

結びに、今後もふるさと小諸市に温かいご支援、ご協力をお願い申し上げますとともに、皆様の更なるご健勝、東京小諸会の限りない発展を衷心よりご祈念申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

海と山の交流 30年

小諸新聞
8月26日(金)

小諸市
滑川市

小諸市と富山県滑川市は、姉妹提携を結んで今年で三十年を迎えた。今もなお様々な形で密接な交流が続いているが、今日二十六日には、両市の交流事業の中で最長の一つである坂の上小学校と滑川市田中小学校の三十回目の交流会が行われる。

姉妹提携は昭和四十九年、市制二十周年の記念事業として姉妹都市事業を計画していた滑川市からのラブコールで実現した。小諸市を対象にしたのは、「海のない山の中の都市」ということ、滑川市と同規模の都市であるという選択基準に合致していたからという。小諸市という都市があることを知らせたのは、いわゆる「富山の薬売り」をしていた人という説もある。

両市の交流の中でも、特に坂の上小学校と滑川市田中小学校の交流

きょう坂の上小 30回目の交流会



昨年開いた交流会

の歴史は長い。もともと両市の小学生野球チームが交流試合をはじめたことがきっかけで、以来、田中小児童が小諸市を訪れ、坂の上小児童宅に一泊二日のホームステイをしながら、りんご狩りやそば打ちなどを体験したり、坂の上小児童が滑川市を訪れるという交流会が続いている。最近では、親子で交流体験を持つケースも登場し、両校の交流の長さや深さを物語っている。

また、小諸ライオンズクラブは滑川ライオンズクラブと年に一度互いの市を行き来して交流会を開いているほか、今年には両市の商工会議所青年部が、ホテルイカや野沢菜といった両市の特産品をミックスさせた新しい漬物を共同開発するなど、両市の交流はますます広がりを見せている。

上田高校卒の「立命会」 新会長に榎田栄一さん



旧制上田中学、上田松尾高校、上田高校の卒業生で小諸市出身、在住、在勤者でつくる「立命会」(小林宏会長)の通常総会は十二日、日本料理音羽で開き、約四十人が参加した。

現在の会員数は約三百五十人。年に一度、総会と懇親会を

開き、同窓生の絆を深めている。今年役員改選にあたり、新しい会長に四十九期卒の榎田栄一さん(小諸市三和)を決めた。

総会後は、五十四期卒で現在、武蔵野学院大学専任教授の山崎和邦さんが「借越ながら」

日本悲観論への警告」をテーマに講演した。

この日決まった新役員は次のみなさん。

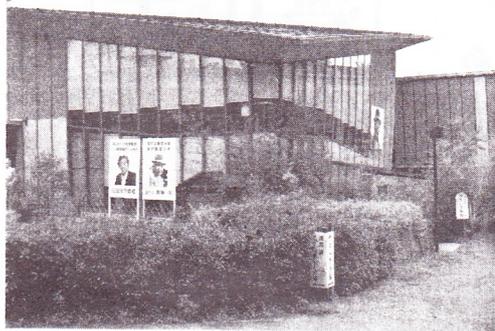
▽会長 榎田 栄一(三和)

▽副会長 久保田 裕男(六供)

▽会計監事 小宮山 始(与良町)

開館10周年——渥美清こもろ

寅さん会館



○：年間三万人が訪れる観光拠点
わたくし、生れも育ちも東京は葛飾柴又です。寅さんの衣装を思わせる地上二階建ての建物を入ると、どこからか往年の台詞が聞こえてくる館内は、俳優・渥美清さんの歩み

映画「男はつらいよ」シリーズの関連資料を集めた「渥美清こもろ寅さん会館」が、開館十周年を迎えた。小諸が舞台となった「寅次郎サラダ記念日」をはじめとするシリーズ作品、「寅さん」こと渥美清さんや映画監督の山田洋次さんにつわる展示物にあふれている同館は、渥美さん亡き後も全国から集まるファンに、「心の中で生きる寅さん」を偲ばせている。

“小諸のお父さん”が呼んだ記念館



寅さんの銅像は遠く生まれ故郷の柴又を向いている。

や舞台セットの模型、ポスターなどがぎっしりと展示されている。この十年間には展示物のリニューアル

ルや増築で「山田洋次監督コーナー」なども新設するなど、内容の充実を図ってきた。

るなどした渥美さんが「小諸のお父さん」と呼んだ井出さんに、土産代わりに贈った品々

17日に記念イベント

開館十周年の記念イベントは、7月17日(日)午後3時半から小諸グランドキャッスルホテルで。山田洋次監督と倍賞千恵子さんが「寅さんの思い出話」と題してトークショーを開く。入場整理券は500円で、同館見学もできる共通入場券。問い合わせは同館(電話0267・24・0881)。

山田洋次監督・倍賞千恵子さんトークショー

入館者は、年間約三万人。観光ツアーの「小諸の目玉」として取り扱う旅行者業者もある。
○：地元との親交で生まれた会館
昭和五十一年。渥美さんが上田市でも撮影の合間をぬって小諸を訪れたことから、同館社長の井出勢可さんⅡ小諸市市長Ⅱとの親交が始まった。以来、「お忍び」で小諸を訪れ

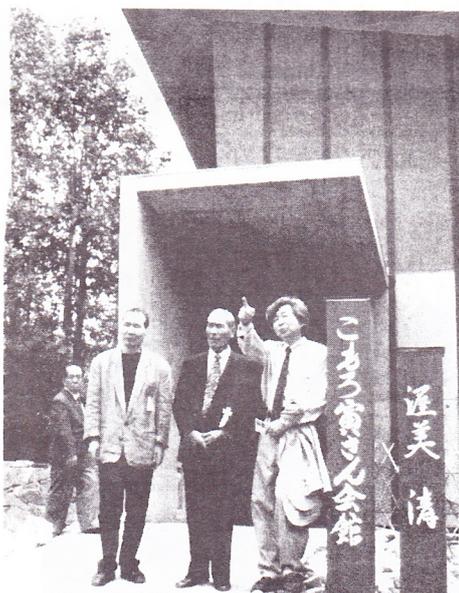
入館者年間3万人 心の中で生きる寅さん

が今の会館の展示物となっている。「いただいた物全てはとてども飾りきれない量」だが、没後に受章した国民栄誉賞の賞状も「井出さんの手元に」との遺族の希望もあり、同館で展示している。
○：開館式典には渥美清さんも出席
開館は平成七年六月。記念式典には、渥美清さんをはじめ山田洋次監

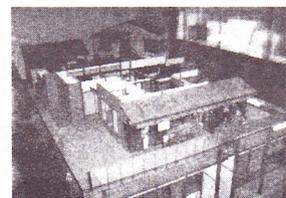
督も駆けつけ、全国ニュースにもとり上げられた。渥美さんはこの時いきりと恐縮していたが、「生きているうちから生前を偲ばせるような変な感じ」と周囲を笑わせていた。
翌年の渥美さん死去後も、「さくら」役の賠償千恵子さんや「おぼち

やん」役の三崎千恵子さん、関敬六さんら出演者も度々小諸を訪れた際に同館に足を運んでいる。
○：寅さんから「釣りバカ日誌」にも発展
小諸を舞台にしたシリーズ四十作目の「寅次郎サラダ記念日」(昭和六十三年)は、渥美さんと井出さんの長年にわたる親交が結んだ。映画

では、小諸病院や荒町通り、本町で寅さんが靴を売るシーンなどが撮影された。
これに続き、山田洋次監督が脚本を手がけた「釣りバカ日誌」も小諸で撮影が行われ、小諸駅や氷区、あぐりの湯の建設現場などがロケ地に。こうした流れが、翌年の同館開館につながった。

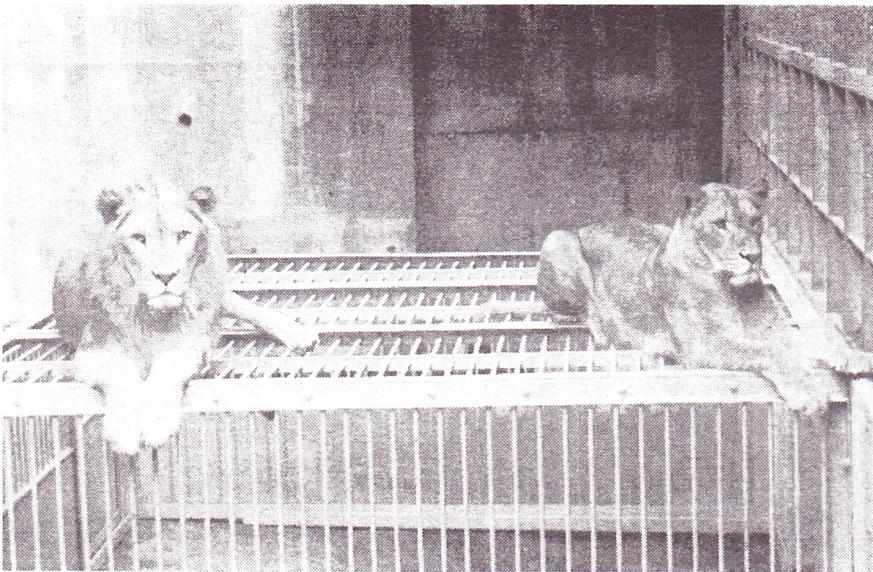


開館式には、渥美さんや山田洋次監督も出席した。中央は社長の井出勢可さん。(平成7年)

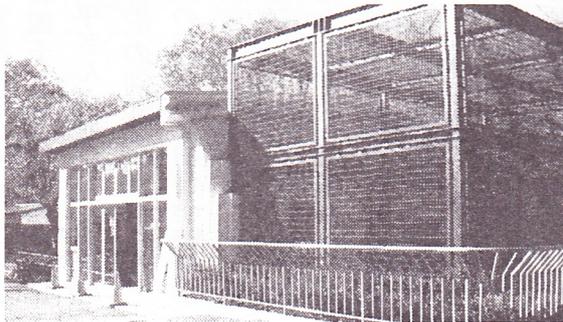


小諸動物園にライオン二頭

あすから一般公開「愛称を募集」



小諸動物園に仲間入りしたシゲとミホ（多摩動物園時代）



改築したライオン舎

懐古園の小諸市動物園にライオン二頭が仲間入りし、明日二十日（土）から一般公開が始まる。小諸市動物園

に大型獣が来たのは、今年一月に生涯を閉じたライオン「沢子」が金沢の動物園からついで来て以来二十年ぶりのこと。

今冬、主のいなくなったライオン舎を見た多くの来園者から「ライオンが見たい」という声が寄せられたことからさっそく対応。二ヶ月程で多摩動物公園からの無償譲渡の契約に至った。

小諸市はライオン舎と隣接するかつてのゾウ舎とを合わせ、およそ七倍の広さに改築し、

た。

今月十五日に小諸動物園に到着した二頭は、雄の固体名「シゲ」と雌の「ミホ」。異母兄妹でいずれも三歳。生まれた時から同じ飼育舎で育っており、シゲは美しい色のたてがみを持つ。二頭は、多摩動物公園では一日五頭の馬肉を食べていたという。小諸動物園でも二頭の調子をみながら馬肉とサプリメントを

県内七動物園のうちライオンがいるのは他に長野市の茶臼山動物園と須坂市の臥竜公園動物園だけ。

小諸市動物園は、二頭の愛称を公募し、命名式と歓迎セレモニーを来年、桜の花が咲く時期に行う予定。

※ライオン愛称公募の受付は十二月十九日まで。問い合わせは懐古園事務所（電話0267・22・0296）。

信州こもろそば振興会

新そば食べてスタンプラリー

来月からキャンペーン

信州こもろそば振興会（塩川功会長）は、十一月五日（土）から来年三月三十一日（金）にかけて、「新そばまつりキャンペーン」を実施する。同振興会の約十店の参加店を食べ歩く「スタンプラリー」形式のキャンペーンで、専用台紙に食べ歩いた店のスタンプ（店印）を押してもらおう。台紙に五

と特製のそば猪口（岡本一道氏作）を一個、

全店集めると「特製手作り前掛け」（中村K子氏作）を一枚プレゼントする。それぞれ五十個、二十枚の先着数量限定。

専用台紙は、参加店のほか小諸商工会議所で配布している。問い合わせは小諸商工会議所（電話0267・22・3355）

雑誌『財界』8月2日 夏季号 = 44号 165

大平正芳・元総理の
二十五周年に思う

葦澤 嘉雄

にらさわ・よしお

[世界経済研究協会専務理事]

去る六月十日、ホテルオークラで大平記念財団の懸賞論文授彰式が行われたが、たまたま今年は大平正芳総理の二十五周年に当たった。そこで、私も一橋の学生時代から大平さんとの縁があったので、献花して黙祷を捧げた。

昭和十四年、私は米谷隆三ゼミの幹事をしていたが、ある日、先生が「葦澤、大平が蒙古から帰ってくる。将来、大物になる男だから、ゼミの歓迎会を開け」と仰るので、そのようにしたら、大平さんは大変喜ばれた。それ以来、私に目をかけて下さった。大平さんが池田勇人蔵相の秘書官から衆議院議員になられ、総

理まで昇られたのは、ご承知の通りである。

昭和四十五年八月二十四日に、大平さんが通産大臣をやめて軽井沢の別荘におられたとき、私の長野県上田中学時代からの親友で当時、日精樹脂工業の常務をしていた故室賀千秋君が同社を大平さんに視察してほしいと言う。実は、同社の創設者で社長の青木固氏は、特許を五十以上も持っているプラスチック成型機械を発明した紫綬褒章受章者。大平さんはそういう人が大好きなのでお出で頂いたのである。

坂城への途中、私は小諸に実家があるので、そこにお寄り頂いた。お昼どきなので、大平さんの好物の讃岐のぼら寿司に似た五目寿司を、私の母と家内が作ってお出ししたら、大平さんはニコニコして「おいしい」とお替わりまで下さった。母と家内は感激して一段と熱烈な大平ファンになった。

拙宅では、私は大平さんに揮毫をおねだりした。快く「進退

問天 栄辱従命」と色紙にお書き下さった。総裁選出馬を念頭に置いての心境を表したものと思われる。この色紙は今も私の小諸の家に掛けてある。

それから大平さんは、日精樹脂に着かれ、青木社長、島喜治専務らの案内で工場を視察、社員に講演されたのち、六時過ぎ歓迎の宴。青木社長が「大平さんの眼は、中国では鵬眼といい、天下を取る相だ」と言ったので、大平さんはご機嫌だった。

帰京して数日したら、「大平会」の創設者、故松本正雄・元最高裁判事（弁護士、私どもの御媒酌人）からお電話があり、「葦澤君、有難う。大平君が君のお陰で信州での思いがけない一日の清遊をした、と今日の『大平会』で披露したよ」とおっしゃる。嬉しかった。

このほかにも、大平総理の思ひ出は尽きない。

官房長官のとき如水会報で対談して頂いたこと、日本寮歌祭にご出演頂いたこと、田中角栄内閣の外務大臣のときと幹事長

のときの二回も私どもの世界経済研究協会で講演して頂いたこと、如水会の大平総理祝賀会を私が幹事役になって特に盛大に催したことが、走馬燈のように眼に浮ぶ。

これらの機会に私が接した大平総理は、偉大な政治家であられるとともに、宗教家、教育者の一面を色濃く持つておられた。大平総理のように、良心的で読書家で思索する、彫りの深い哲人宰相は、自分、日本には現れないであろう。

ところで、私は、石原慎太郎がらみで、大平さんに、いいことをして上げたことがある。

自民党総裁選に、田中（角栄）、中曽根、大平が立ったが、突然、中曽根が角栄と握手してしまっただ。そこで、私は親友の石原に電話して、「こうなったら、君は、一橋ということもあり、大平に入れるよ」と言った。石原は、立川談志を連れて、大平に入れた。当時、大平が百票の大台に乗るかが注目されていたので、この二票は貴重だった。

コモロスマミレ 新デザイン決まる

旧デザインは
コモロスマミレじゃなかった!



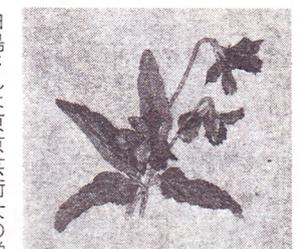
山崎なずなさん 小諸市御影 作品採用 (写真右)



小諸市は、市の花「コモロスマミレ」の新しいデザインを決めた。これまでもコモロスマミレのデザインはあり、公用車や封筒などに利用してきた。ところが市民から「花びらなどの形がコモロスマミレではないのではないか」の指摘があり、昨年度、市政施行五十周年を記念して改めて公募した。応募数は市内七人、市外六人から合わせて二十点。採用されたのは小諸市御影在住の山



勝又さんは佐久市でステンドシルの教室を開いている。



白鳥さんは東京芸術大の学生。日本画の勉強をしている。

崎なずなさんの作品で、水彩で描いた繊細な作品。山崎さんは七年前に小諸市に移住。「野の花があまりきれいで、描きたくて自己流で水彩画を始めた。コモロスマミレは空き地の端にあるのを見つけ、感激して描いた」。審査員で切り絵作家・柳沢京子さんのアドバイスで描き直した一枚。柳沢京子さんは「スマミレを通して小諸が持っている潜在的な力を發揮する目的にふさわしい作

品を選んだ。エンブレムのような形で活用してほしい」とした。

採用作品は市役所の公用車や封筒、名刺などで徐々にデビューするほか、佳作の二点も含め、ダウンロードして自由に活用できるよう小諸市のホームページに載せる。入賞者は次の通り。

- ▽採用 山崎なずな (御影)
- ▽佳作 勝又 栄子 (佐久市)
- 白鳥 純司 (市町)

市の国土利用計画 17.1.18 初めて“人口減”想定 10年後の小諸市の人口 4万4千人

十年後の小諸市の人口は約四万四千人。小諸市企画課は、現在作成中の「国土利用計画小諸市計画」で、初めて「人口減」を想定した。一月一日現在の四万五千六百二十一人に比べて、千六百人減るとしている。

小諸市の人口は、平成七年策定の「第三次基本構想」では「平成二十二年には五万二千人」という数字を打ち出していた。

が、予測とは裏腹に、人口は平成十一年をピークに減少。近年は、出生数も大幅減少しており、平成十四年の四百五十五人から年を追う

ごとに三百九十人、三百六十五人と二年間で九十人も減少した。このことを踏まえ、この計画では前回(十年前)の計画に入っていた観光レクリエーション拠点「信州千曲バーデン構想」や、県営「小諸御牧ヶ原産業団地」、民間による「浅間山麓リゾート構想」など大きな開発プロジェクトを外し、今ある環境の整備保全に力を注ぐ「踏襲型」にした。

同計画の案は今後、市ホームページで公開して市民の意見を募り、市会三月定例会で決定となる。

2005.9.23

おいしいーい! ふれあい給食会 東区

小諸市東区(片桐安英区長)は十一日、同区公民館で「ふれあい給食会」を開き、地区のお年寄り約三十人が参加した。昼食会は年五回計画し、今回は四回目。日

頃顔を合わせる事の少ない地区のお年寄り同士の親睦を深める目的で十一年前から行っている。

料理は地区のボランティア「コスモス会(大井紀久代代表)」が準備。おこわやユウガオの煮付けに、参加者は「おいしい」と舌鼓を打っていた。「年を取ると女性の方が活発

になるのか女性の参加者が多い。男性にもどんどん参加してほしい」と湯本勇雄副区長。

食後は地区の民生児童委員の中村佐千子さんと軽体操や童謡唱歌を楽しみ、ちよっと早い敬老の日のプレゼントとして、鉢植のかわいらしい花をもらった。

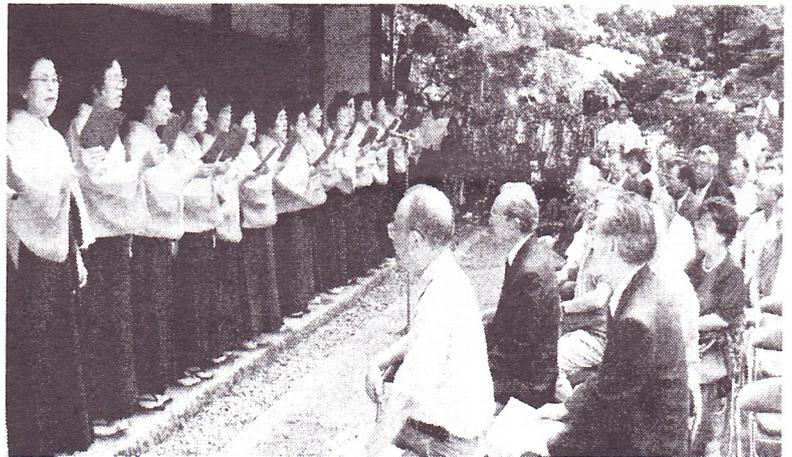
諸 新 聞

2005年(平成17年)8月26日(金) (6)

「千曲川旅情のうた」の合唱も 63回目の「藤村忌」

小諸市にゆかりのある作家・島崎藤村を偲ぶ「藤村忌」は、藤村の命日である二十二日、小諸市古城の藤村記念館前で開いた。

小諸草笛会やコーラス白樺が、藤村作詞の「千曲川旅情のうた」を演奏、約三百人の参加者や、足を止めた観光客らが静かに耳を傾



けていた。また、藤村に関する著書を持つジャーナリスト、千葉宣朗さんによる「わが心のうちなる藤村」と題した講話もあった。

藤村は明治三十三年、小諸義塾に英語と国語の教師として赴任。同塾を退職するまでの約七年間を小諸で過ごした。

小諸なる古城のほとり

「千曲川旅情の歌」より

島崎藤村 作詞
弘田竜太郎 作曲

気概をもって

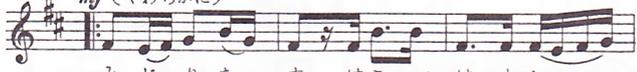


こもろなる こじょうのほとりくもし
Ko-mo-ro na - ru ko-jō - no - ho - to - ri ku-moshi



ろく ゆうしかなしむ
ro - ku yū - shi - ka - na - shi - mu.

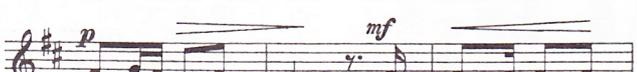
mf (やわらかに)



みどりなすはこべはもえ
Mi - do - ri na - su ha - ko - be wa mo - e - - -
あたたかきひかりはあれ
A - ta - ta - ka - ki hi - ka - ri wa a - re - - -



ずわかくさもしくに
zu wa - ka - ku - sa - mo shi - ku - ni
どのにみつるかおりも
do no ni mi - tsu - ru ka - o - ri mo



よしなししろがねの
yo - shi na - shi, Shi - ro - ga - ne no
しらすあさくのみ
shi - ra - zu, A - sa - ku no - mi



ふすまの おかべひ
fu - su - ma no o - ka - be hi
はるはかすみてむ
ha - ru wa ka - su - mi - te mu



聞 小諸新聞 2005年(平成17年)10月28日(金) (4)

全国本町活性化シンポ

11/5

講演会

パネルディスカッション

市民多数出演

「本町」という地名を縁に、全国の本町にある商店街やまちづくりに団体が情報交換などをする「第五回全国本町活性化シンポジウム」(大会長 依田晋一本町区長)は、十一月五日(土)午後一時半から小諸グランドキャッスルホテルで開く。講演会やパネルディスカッションに多くの小諸市民が出演する。

今回のスローガンは「元気なまち・住みたいまち・伝えたいまち」。基調講演「鳥の目虫の目魚の目」はツルヤ社長(長)の掛川興太郎さんが、記念講演「受け継いだもの」は小布施堂社長の市村次夫さんが、それぞれ講演する。

ターとなり、大島康紀氏(洋画家)、岡本一道氏(陶工)、山中己充氏(西洋古典版画研究家)、八木沼雅子氏(レース工房主宰)、横田掌楽氏(陶芸家)がパネラー参加する。入場無料。問い合わせは実行委員会(電話0267-22-3355)。



ざーようなみのきしちかーき
za-yo-na-mi no ki-shi chi-ka-ki

やどーにーのぼりつ にごりざ
ya-do ni no-bo-ri-tsu, Ni-go-ri-za-

けにーごーれるのみてくさま
ke ni-go-re-ru no-mi-te ku-sa-ma-

くーら しばーしーなくさむ
ku-ra shi-ba-shi na-gu-sa-mu.

にとけてあわゆきながる
ni-to-ke-te a-wa-yu-ki na-ga-ru,

ぎのいろわずかにあおし
gi no i-ro wa-zu-ka ni a-o-shi.

p sempre (少しおそく)
たびびとーのむれはいくつ
Ta-bi-bi-to no mu-re wa i-ku-tsu-

か は た な かーのみちーを
ka ha-ta-na ka-no mi-chi-o

rit. *p*
いーそぎぬ くれゆけば
i-so-gi-nu, Ku-re-yu-ke-ba

cresc. e passionato
pp
あさまもみえずうたーかーな
a-sa-ma mo mi-e-zu u-ta-ka-na-

p *pp*
し さ くーのくーさぶーえう
shi, Sa-ku-no ku-sa-bu-e u-

rit. *mf*
たかなし ちくまがわい
ta ka-na-shi. Chi-ku-ma-ga-wa i-

小諸なる古城のほとり 雲白く遊子悲しむ
みどりなすはこへは萌えず
若草も藉くによしなし
しろがねの袈の岡辺 日に溶けて淡雪流る

あたたかき光はあれど
野に満つる香も知らず
浅くのみ春は霞みて 表の色わずかに青し
旅人の群はいくつか 皇中の道を急ぎぬ
暮れゆけば浅間も見えず 歌かなし
佐久の草笛 歌かなし

千曲川いざよ波の 岸近き宿にのぼりつ
濁り酒濁れる飲みて 草枕しばし慰む

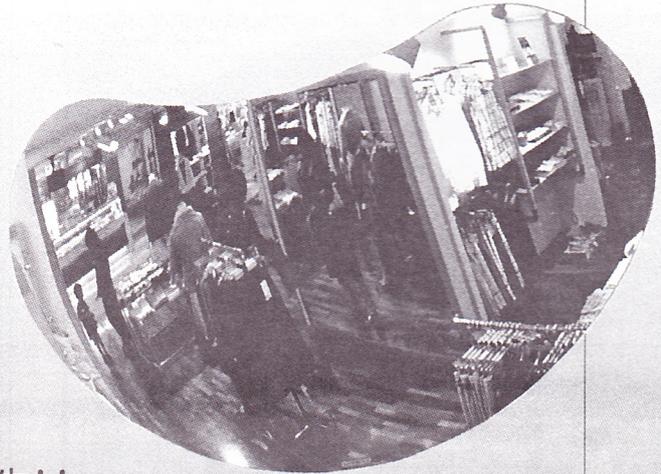
明治三十三年四月「明星」創刊号に発表した
藤村の詩に、大正十四年作曲。

死角を生かす気くばりミラー **komy**

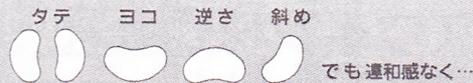
NEW
気くばりミラー

ふわり

PAT.2835876



超軽量!! ユーモラスでシンプル
ニュー気くばりミラー「ふわり」誕生!!



- カタログ請求や詳しくは ☎048-250-5311 (営業本部)
 - お試しサンプル無料貸出制度をご利用下さい。
- ショップミラーだけでも20種類以上。大きく見たいか?
小さくても広く見たいか? 目立たない方が良いか?
あるいは逆か? 最適なミラーをご検討下さい。

コミー株式会社 〒332-0034 埼玉県川口市並木2-2-3
TEL 048-250-5311

www.komy.co.jp 小宮山 栄 (小諸市鶴巻町出身)

- 万引問題情報室 「万引問題」物語/少年万引モラルハザード 他
- 会社案内 ●商品ガイド ●使用現場の声 ●購込通信など掲載!!

身近なATM・コンビニから航空機まで、コミーのミラーは、安全・防犯・サービス・効率アップに役立っています。

三和シャッターグループは、「安全」「安心」「快適」を
提供することにより、社会に貢献致します



低価格で「窓」の防犯性と利便性をアップ!

“防犯性能の高い住宅用窓シャッター”

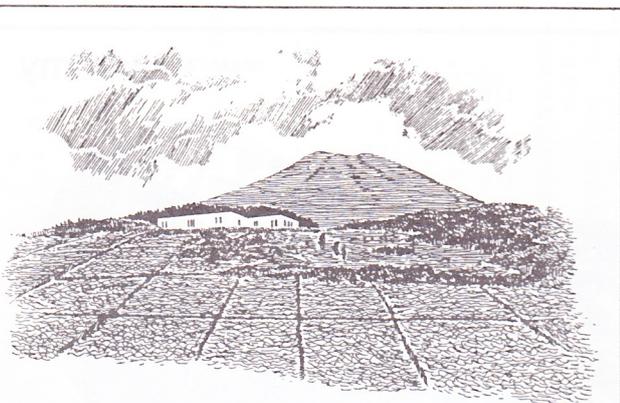
サンパックスリムDF5

「防犯性能の高い住宅用窓シャッター」とは、官民合同会議で評価された、公表リストに適合する防犯性能の高い商品です。

三和シャッター工業株式会社

取締役副社長 渡辺静雄

ホームページ <http://www.sanwa-ss.co.jp>

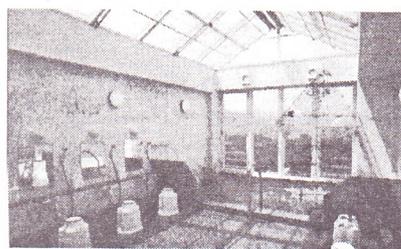


小 諸

マンズワイン株式会社
小諸ワイナリー

〒384 小諸市諸375
☎0267-22-6341 ご見学可

旅情の町、やすらぎとロマンにひたるリゾートホテル



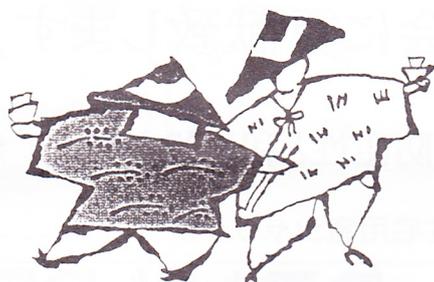
窓からは浅間連峰北アルプスの山々が眺望でき、体の芯より温め、疲れを癒してくれます。休憩室・男女サウナ完備。

- 【泉質】 単純温泉
- 【効能】 疲労回復、健康増進、神経痛、筋肉痛
- 【宿泊】 一泊朝食付(税別) 6,800円～
〈入浴時間〉 6時～9時・11時～24時
- 【日帰入浴】 1,000円(タオル浴衣付) 500円(タオル持参) 11時～22時

紅葉狩り
さわやか信州・小諸
浅間山麓のトレッキングの拠点に!!

小諸温泉
小諸グランドキャッスルホテル
小諸市古城1-1-5 Tel 0267-22-8000

懐古園
小諸そば
馬子唄の
津向の



信州・信濃
挽きたて・打ちたて・茹でたて

小諸そば

株式会社 三ツ和小諸そば事業部
本社 〒104 東京都中央区新川2丁目13番8号 ☎03(3555)0092

健康を贈る 山吹味噌の特長

天然、自然の条件を何よりも尊重し
味噌に最適な原料を選び
昔ながらのみそ造りの長所を守り
量産にこだわらず、自然の味のみを
追求しています。

味噌づくり300有余年——

山吹味噌

信州味噌株式会社

本社 / 〒161 東京都新宿区下落合3-17-38
TEL 03-3951-1141(代)
工場 / 〒384 長野県小諸市荒町1-7-11
TEL 0267-22-0007(代)

平日(月~木)のみ/1日限定40名様(8名様以上)

限界に挑戦 **大鍋すきやきコース**
 <120分、飲み放題>

お一人様 1泊2食 **9,800円** 全て込み (サ・税込)

カニ付きとくとくコース 13,800円

お一人様1泊2食(サ・税込)/平日(月~木)のみ

爛太郎コース

- 日帰り/お一人様 4,500円~(サ・税込・税別)
- 1泊2食/お一人様 8,000円~(サ・税込・税別)

信州小諸・菱野温泉

常盤館

TEL0267・22・0516



きのこと温泉

くさびらコース ¥3500
写真「くさびらコース」
 素材により風立が真体のあま

あごころくさびらコース ¥2500

ふわり家(夕食)
 常盤館(1泊・朝食) (4名様1室利用)
¥12,500 (お一人様 税込み)

交通のご案内 **ふわり家**

きのこと山菜料理 **きこの森 ふわり家**

ご予約お問合せ TEL.0267-22-6665
 FAX 0267-22-1981

定休日 火曜日(8~11月は無休)

営業時間 AM11:00~PM9:00

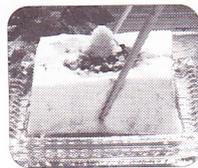
その他 H17年2月は不定休です

社長 花岡道別
 ち わき
 (小諸市観光協会会長)

Kikkoman
食のあかし



お刺身に



冷や奴に



煮物に



キッコーマン特選丸大豆しょうゆ

原料大豆として良質の丸大豆を100%使用

まろやかな風味、深みのあるうまみ、やわらかな口あたり。
 「つけ」「かけ」「煮物」に、丸大豆100%のおいしさをどうぞ。

佐久の地酒・山謙酒造の花シリーズ

吟醸酒 **小諸すみれ**

純米酒 **姫ゆり**

本醸造 **すずらん**

水は浅間の伏流水。

米は山田錦・美山錦を主原料に、酒造りの命である、麴造りはむろんのこと、醸造に至るまですべて伝統にのっとった手造りの地酒です。
 郷里からの贈り物にぜひご利用ください。

銘醸蔵 **山謙酒造店**
 長野県小諸市市町一丁目二七
 TEL/FAX 〇二六七二一〇〇七

躍進する香坂グループ

株式会社 香 坂 建 設

信 濃 培 養 土 株 式 会 社

代表取締役 香坂 勝

株式会社 シ ン コ ー 土 地

代表取締役 山崎 武信

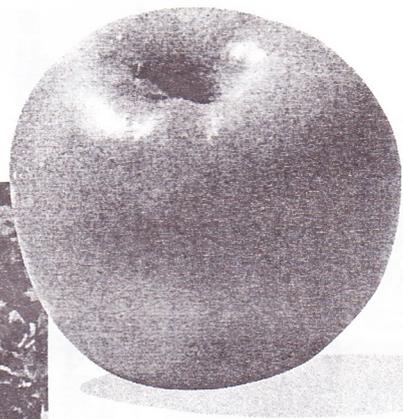
本社／小諸市甲92番地 ☎0267-22-1184 (代)

信濃培養土(株) ☎0267-22-5439

(株)シンコー土地 ☎0267-25-2111

信州小諸——小諸市観光協会指定

りんご狩



尾沼りんご園

りんご園・小諸市後平☎0267-22-4145(夜)
直売所・長野県小諸市栃木(国道18号沿)

TEL. 0267-22-6126

FAX. 0267-22-6126



誠実な技術をもって
地域社会に貢献する

総合建設業



竹花工業株式会社

代表取締役 山浦和人
代表取締役 唐澤正幸

本社 小諸市南町2-6-10 TEL. 0267(22)1750(代) FAX. 0267(23)3969
支店 田中 0268(62)0144・駒ヶ根 0265(82)3218・東京 0425(83)7067



5号 圓形量200g詰

信州博小諸の日に
大好評頂きました

はな豆の缶詰です

地元浅間高原産の一級品の原料を使用しています。
郷土の特産として、贈答品、おみやげとして、御
利用ください。

3本詰め、6本詰め、10本詰めなど御座います。
多少にかかわらず全国発送致します。

平成4年度長野県園芸特産展入賞
小諸市推薦土産品認定品

株式会社 高嶺商会

小諸市和田547-21

TEL 0267-22-3832

FAX 0267-22-4396

